

広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会



CONTENTS 主な内容

② 平成22年県民の日記念式典が行われました

- 県民の日フリー乗車券
- あしたのまち・くらしづくり活動賞
- 第42回シラコバト賞

③ 「サイコミ君」着ぐるみ貸出中 市町村コミ協の魅力発見!

- 日高市コミュニティ協議会
- 久喜市鷲宮コミュニティ推進協議会

④ つなげよう 地域の力

～福祉の分野から課題に向き合う
地域の取り組み～

2011.2

第31号



埼玉県のマスコット コバトン



イベントが
いっぱい!

みんなで広げる コミュニティの輪!

彩の国コミュニティ協議会 会員&賛助会員募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

- | | | | |
|------|---|--------|---------------|
| ● 会員 | ● 対象：企業・団体 | ● 賛助会員 | ● 対象：個人 |
| | ● 会費：企業1口5,000円を2口以上
団体1口5,000円を1口以上 | | ● 会費：1口2,000円 |

賛助会員だけの入会特典

入会記念として

サイコミ君
缶バッジ(2個)を
プレゼント!



お知らせ

どしどし応募してね!

「ブチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。詳細については事務局へお問い合わせください。



平成22年度

県民の日記念式典が行われました

去る11月14日(日)に埼玉会館にて「平成22年度県民の日記念式典」が開催されました。

式典では、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長上田 清司 埼玉県知事から賞状、副賞の盾が授与されました。

他にも知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰も行われ、大勢の方に御参列いただき、華やかな式典となりました。



【県民の日フリー乗車券】

「県民の日」を記念して、各鉄道会社ごとに乗り放題になる「フリー乗車券」の販売が行われ、約13,000枚の売り上げがありました。御協力をいただいたのは、以下6つの鉄道会社です。

- 西武鉄道
- 東武鉄道
- 秩父鉄道
- 埼玉新都市交通
- 埼玉高速鉄道
- 首都圏新都市鉄道



【あしたのまち・くらしづくり活動賞】

あしたのまち・くらしづくり活動賞は、住みよい地域社会を目指し、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果を挙げた住民集団・企業等に贈呈されるものです。本年度は県審査会として、優秀賞を4団体が、奨励賞を1団体が受賞しました。

- 優秀賞** 川口市プレイリーダー協議会(川口市)
和光市コミュニティ協議会(和光市)
大宮今羽町団地スポーツサークル(さいたま市)
原市みどりの再生ボランティアの会(上尾市)
- 奨励賞** はとやま子育てネットワーク・くるっくー(鳩山町)

なお、優秀賞に輝いた4団体については、全国から活動事例が集まる中央審査会に推薦をしました。その結果、川口市プレイリーダー協議会と和光市コミュニティ協議会が振興奨励賞を受賞しました。

【第42回シラコバト賞】

シラコバト賞は、日ごろ身近なところで住みよい地域社会を実現するため、積極的な実践活動を地道に続けている個人や団体の功績を称える表彰です。健康推進活動や郷土芸能の伝承など、様々な活動をされている個人145名、団体55の計200件が受賞しました。

県民の日記念式典においては、受賞者を代表して4名の方に登壇いただき、上田清司会長から表彰状と副賞の盾が授与されました。

心のふれあいを深める活動 新橋 正夫 氏(加須市)

地域の小学生の健全育成のため、自らの畑を用いてサツマイモの苗植え・収穫体験の場を提供。作物の栽培の楽しさを伝える。

受賞の感想

サツマイモ掘りを通じ、子どもたちや地域の人々とともに自然の恵み、ふれあいの大切さを感じました。ありがとうございました。



住みよいふるさとをつくる活動 SALA賀美(上里町)

健康推進活動、リサイクル活動、環境美化活動、下校の見守り活動等、地域に密着したボランティア活動を長期にわたり実践している。

受賞の感想

自主活動団体として地域の催しに幅広く参加してまいりました。この度の受賞は会員の努力が報われたものであり、これからの励みになりました。



健やかな心身を育てる活動 関根 恒喜 氏(熊谷市)

熊谷市陸上競技協会が実施する体育大会や熊谷さくらマラソン大会等の企画運営で中心的な役割を担い、健康体力作りに貢献している。

受賞の感想

たいへん名誉なことと支えてくれた地域の方々に深く感謝します。これからも地域スポーツの普及・振興に継続して努めていきます。



郷土を知り、郷土を想う活動 知知夫囃子会(秩父市)

夏祭りに笠鉦で演奏する子どもたちを指導し、秩父の観光事業に貢献するとともに、郷土芸能の伝承と後継者育成に尽力している。

受賞の感想

名誉ある賞をいただき、会員一同で喜びを共有できたことが嬉しかったです。今後も伝統を伝えていきたいと思っております。



「サイコミ君」着ぐるみ 貸出中

彩の国コミュニティ協議会マスコット「サイコミ君」の着ぐるみが完成しました！
当協議会が支援する子ども大学の学園祭への参加や、県内の御当地キャラクターが埼玉の魅力をPRする『ゆる玉応援団』への入団を申し込み、これからの活躍が期待されています。
着ぐるみは、コミュニティ関係のイベントに対して貸し出しを行っていますので、サイコミ君を様々な場面に登場させて地域を盛り上げていきましょう！

【概要】

1. 保有数: 2体
2. 保管場所: 事務局(さいたま市)、北部地域担当局(熊谷市)

【使用用途】

1. 彩の国コミュニティ協議会及び各市町村コミュニティ協議会に関する行事
2. コミュニティの活性化を目的とした地域のまつり等

【申込方法】

1. 事務局に電話で着ぐるみのスケジュールを確認し、仮予約をしてください。(申込期間は貸出日3月前から3日前まで)
2. 着ぐるみ使用申込書に必要事項を御記入の上、事務局あてに提出してください。
着ぐるみ使用申込書は使用規程とともにホームページからダウンロードしてお使いいただけます。
※ 申込状況によっては、御希望に添えないこともございますので予め御了承ください。

【使用規程及び取扱要領】

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/sainokunikomikyotop/saikomikun.html>

- ※ 取扱注意などホームページをよく読み、使用規程及び取扱要領を遵守して使用してください。
(その他、立看板・のぼり旗も御利用いただけます。)



市町村コミ協の 魅力 発見!

県内には70の市町村コミュニティ協議会(=コミ協)があります。地域性、特性を活かして活動しているコミ協をPR! あなたのお住まいの地域で活動している市町村のコミ協はどこなのでしょう??

日高市コミュニティ協議会

日高市コミュニティ協議会は、「心のふれあいを深め、健やかな心身を育て、住みよいふるさとをつくる」ことを目的とし、「ふれあいのある地域づくり」運動を積極的に進め、市民のコミュニティに対する意識の高揚を図っています。

主な事業につきましては、地域への支援活動の一環として、コミュニティ活動推進助成金の交付を行い、各自治会や団体等の活動をサポートし、コミュニティの和を広げています。



凧揚げ大会の様子

市の鳥「かわせみ」にちなんだ顕彰事業として、地域で永年にわたり地道な活動をしている地域ボランティアに「かわせみ賞」を贈呈しています。

また、2月の第一土曜日には、毎年恒例の日高市手づくり凧揚げ大会を開催しています。



市のマスコット くりっぴー&くりっかー

会場は、川が巾着の様に蛇行している巾着田のグラウンドで行い、凧は中学生以下の部、一般の部でわかれて「仕上がリ」や「揚がり方」により競われます。最後に大凧が揚がり、日和田山を背に大空高く揚がる様子には、ふるさとの良き遊び風情を感じます。

これからも、日高市のコミュニティを考え、協働ある地域づくりを目指していきたいと考えております。

事務局：日高市総務課 Tel.048-989-2111

久喜市鷲宮コミュニティ推進協議会

久喜市鷲宮コミュニティ推進協議会は、新旧住民の親睦・交流を図り、ともに新しいまちづくりをしようという目的のもと、昭和54年7月に設立されました。その後、様々な組織改革等を経て、現在では鷲宮地区の小学校通学区を単位とする五つの地区コミュニティ協議会(上内地区、桜田地区、東鷲宮地区、鷲宮西地区、砂原小地区)が中心となり、それぞれの地区の実情に沿った独自の活動を展開しています。

平成21年度に当協議会も設立30周年を迎え、これまでのあゆみを綴った記念誌を刊行することができました。

また、昨年3月には久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷲宮町が合併し、新「久喜市」となり、当協議会も「久喜市鷲宮コミュニティ推進協議会」と名称を改め、気持ちも新たにスタートしたところです。

主な事業としては、コミュニティ活動を実践するための意義を学習し、今後のコミュニティ活動が更に充実したものとなるよう、コミュニティリーダーの育成を目的とした「地域づくりリーダー研修会」、先進地の取り組みを学ぶ「視察研修」、広報紙「かけはし」の年2回発行などの事業を行っております。

今後も、五つの地区コミュニティ協議会とともに、誰もが快適に安心して暮らせる「心のふれあう豊かで住みよいコミュニティ(地域社会)」の実現に向け、頑張っていきたいと思っております。

詳しくはホームページ(<http://www.washi-comi.com>)をご覧ください。



先進地視察研修会

事務局：久喜市鷲宮総合支所市民税務課 Tel.0480-58-1111

お詫びと訂正

2010年11月発行の「広げようコミュニティの輪」第30号(2ページ『地域による子育て支援事業～コミ協は「子ども大学」を応援中～』)において、子ども大学こしがや(越谷市)の関係団体を「立教大学」と記載しましたが、正しくは「文教大学」の誤りでした。関係者の皆様にお迷惑をおかけいたしましたことをお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

つなげよう 地域の力ちから

彩の国コミュニティ協議会は、様々な主体が共に助け合いながら地域社会づくりが進められるよう、地域の「つなぎ役」として支援・協力を行っています。そんな地域のパワフルな活動を皆様に毎号お伝えしていきます。

福祉の分野から課題に向き合う 地域の取り組み ～新座市, 飯能市～

現在の地域社会は、子育て・介護から防災・防犯、環境問題まで様々な課題を抱えています。福祉の分野では、災害に備え地域が一体となった取り組みや、住民同士で行う身近な支え合いなど、地域住民が主体となって課題解決に努めています。

いざ!という時に協力し合える ネットワークの形成「避難所生活体験会」

新座市北部第二地区地域福祉推進協議会

お問い合わせ: 新座市北部第二地区地域福祉推進協議会 ☎048-477-6301

新座市北部第二地区地域福祉推進協議会は、町内会・自治会、社協支部や福祉施設、NPO団体等で構成され、行政や専門機関とも連動しながら住民主体による「支えあいの地域づくり」を目指して活動しています。その中で各町内会・自治会防災担当者を中心メンバーとした「防災プロジェクト」を設置、活動拠点である旧新座小学校(6年前の統廃合により現在は廃校)の体育館を利用し、平成22年7月17・18日にかけて「避難所生活体験会」を実施しました。

災害に対する地域ぐるみの備えの必要性が叫ばれる中、実際に災害が起こって避難しなければならない状況におかれた際、今回の体験会に参加することによって防災に対する意識を高め、「いざ」と言うときに困らないようにする手段となるよう企画したものです。また、今回は初めての開催ということもあり、「誰もが気軽に参加しやすい取り組みを」と考え、構成する各町内会・自治会防災担当者が互いの顔を知るきっかけになればと行いました。

まず住民自身が主体的に動き、行政や社協にも声をかけ、それぞれの役割を持ちながら企画段階から参画してもらいました。具体的には、新座市市民安全課には市の「避難所運営マニュアル」に基づき、避難所の受付から誘導、居住スペースの割り振りをお願いし、新座市社会福祉協議会に対しては、社協で作成した「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に基づき、作業班のグループ分けなどをお願いしました。参加者は受付後、作業グループごとに仕事を分担しながら、居住スペースの整備や簡易トイレの設置、キャンプ用テントを立てたり、食事の準備など共同作業で行いました。

企画の中では、阪神淡路や中越での被災体験談を聞いたり、災害時の被害を最低限に抑える手段や避難所生活における健康留意について、エコノミー症候群を防止する運動などを学びました。

この体験会には、車イスや障がいをもつ人達も参加し、災害時要援護者と呼ばれる方たちの生活課題にも気づくことができ、地域で暮らす様々な人との関わりの大切さを痛感しました。これからも地道に活動を重ね、町内会・自治会同士の連携を図り「共助」を念頭に地域の力を養っていきたいです。



子どもも障がい者も全員参加!

地域の課題はみんなで解決 「なぐりの茶の間」「たすけあう名栗」

なぐり広場

お問い合わせ: 飯能市社会福祉協議会名栗事務所 ☎042-979-1133

飯能市では、第一次飯能市地域福祉計画・第二次飯能市地域福祉活動計画(愛称「はんのう ふくしの森プラン」)に基づいて、地域住民と市、社会福祉協議会が協力し合って福祉活動をを進める組織の立ち上げを進めています。そこで、名栗地区に平成21年11月に設立されたのが「なぐり広場」です。

「なぐり広場」は、「名栗地区の誰もが、安心して楽しく暮らせる地域」をつくることを目指して、地区内の自治会、民生委員児童委員協議会、6つのボランティアグループなどで構成されています。「福祉」や「支えあい」に広く関心を持っていただくことが難しい中、自治会に御協力をいただき活動を共にしていることは、大きな支えとなっています。

活動の柱である「なぐりの茶の間」は年齢や性別に関係なく、どなたでも気軽に集まれる「地域の居場所」として、飯能市保健センター名栗分室で毎週火曜の10時から16時まで開いています。ここには様々な悩みがある人、一人暮らしの高齢者やなぐり広場の運営スタッフ、時には介護支援事業所のケアマネージャーなども立ち寄ります。編み物をする人、お茶飲み話に盛り上がる人、事業の打合せをする人、介護の相談をする人、1人1人がまるで我が家の茶の間のよう思い思いに過ごしています。

また「たすけあう名栗」は平成22年10月に開始されたばかりの活動であり、家事や草取り等の身近なお手伝いを有償(30分あたり500円)で行います。高齢化の進行が顕著なこの地区で、高齢者をはじめとした誰もが、できる限り暮らし続けられるようにとの思いで取り組んでいます。気持ちはボランティアですが、お礼を気にすることなく気軽に手助けを求められるよう、あえて有償としています。この活動は準備段階から「なぐり広場」の担当スタッフと社協の職員で協議を重ね、自治会を通じて地域の方々にお知らせしました。また、担い手の勉強会では社協の介護事業職員が訪問時の注意事項をレクチャーするなど、それぞれができることを分担して行っています。

「なぐり広場」が設立から運営まで順調に進んでいる要因の一つは、地域住民と「おらがまちの社協職員」が身近なところで、いつでも協力したり、相談したりする体制がとれていることです。地域住民、行政及び社協の三者がお互いの役割を認め合って活動している「なぐり広場」は、これからも新たな取り組みを進めていきます。



本当の茶の間のような雰囲気

コミュニティマップのご案内

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップを御希望の方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局(右記参照)へお送りください。

県内の
イベント情報が
盛りだくさん!

